

学修成果の評価の方針 (研 究 科)

医療保健学研究科

教育課程の学修成果については、各領域における学位授与の方針に定める資質や能力を最終的に達成するように構成された、各授業科目の到達度目標の達成度を評価すべく、授業担当教員は、授業科目の特徴を踏まえた多面的評価を行う。

【修士課程】

- 1) 専門分野及びその周辺分野についての複雑な科学・技術問題を分析し、解決する力を身につける
- 2) 研究成果等を日本語あるいは英語で論文等としてまとめ、発表する力を身につける

【博士課程】

- 1) 専門分野及びその周辺分野における自立した研究活動を行うための高度な研究遂行力を修得する
- 2) 社会の多様なニーズに対応するための専門技術応用力を修得する
- 3) グローバル化に対応するための国際的なコミュニケーション力を修得する

1. 教育・評価方法

【修士課程】

区 分	教 育 方 法	評 価 方 法
1) 専門分野及びその周辺分野についての複雑な科学・技術問題を分析し、解決する力	専門分野の柱となる科目及び発展的な科目を配置することにより、実践的な専門応用力を養う。	①講義科目及び演習科目については、筆答試験、レポート、発表により評価する。 ②実験及び演習科目及び実習科目についてはレポート、発表、実技により評価する。 ③授業科目によっては、多面的評価を実現するため、小テストや中間試験等を評価に活用する。
2) 研究成果等を日本語あるいは英語で論文等としてまとめ、発表する力	系統的に組み立てられた他領域履修科目や総合領域科目等により、複雑な課題に対して、広い視野から解決策を見いだす力を養う。	①講義科目及び演習科目については、筆答試験、レポート、発表により評価する。 ②実験科目及び実習科目については、レポート、発表、実技により評価する。 ③授業科目によっては、多面的評価を実現するため、小テストや中間試験等を評価に活用する。
	ゼミナール及び特別研究を通じて得られた研究の成果を修士論文としてまとめ、これを発表する過程において、分析力、解決力および発表力を養う。	ゼミナール及び特別研究については、活動内容、論文、発表により評価する。

【博士課程】

区 分	教 育 方 法	評 価 方 法
1) 自立した研究活動を行うための高度な研究遂行力	自ら課題を設定し、各専門分野専門性を駆使してその解決策を見いだすとともに、ゼミナール及び特別研究を通じて得られた研究の成果を博士論文としてまとめること及び学会での発表及び討論により、研究遂行力を養う。	ゼミナール及び特別研究については、活動内容、論文、発表により評価する。
2) 社会の多様なニーズに対応するための専門技術応用力	専門分野の新規性・貢献性のある研究を創出する力を養うための授業科目等により専門知識を幅広い分野で応用する力を養う。	講義科目及び演習科目については、発表、実技、筆答試験、レポートにより評価する。
3) グローバル化に対応するための国際的なコミュニケーション力	英語プレゼンテーションの実践力を身につける授業科目及び学会・国際会議等において口頭発表及び討議を行うことにより、国際的に通用するコミュニケーション力を養う。	講義科目及び演習科目については、筆答試験、レポート、英語での発表・討論により評価する。

2. 成績評価方法の明示

授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示する。

3. 成績評価基準

得点 (100点法により採点)	評語	評 価 基 準	合否判定
		達 成 度 レ ベ ル	
80点～100点	A	到達度目標を十分に達成し優秀である	合格
70点～ 79点	B	到達度目標を概ね達成している	
60点～ 69点	C	到達度目標を最低限達成している	
59点以下	D	到達度目標を達成していない	不合格

4. 成績情報の開示

学生に対して、教務システムを利用し、授業科目ごとの評語を開示し、学生自身による確認を可能とする。

5. 評価の点検

成績評価の結果は、研究科教務委員会等において定期的に点検を行い、必要に応じて教育方法等の改善を行う。

また、修士課程においては全科目について授業評価アンケートを実施し、学生の主観的調査を実施する。その結果については年に1回取りまとめて公表する。

表 1 学修成果の測定指標の分類

		教育内容・活動と学修成果との関係	
		直接的	間接的
学修成果測定方法	直接的	教育による直接的な効果を直接測定する指標 例：科目試験、修士論文、博士論文等	教育による間接的な効果を直接測定する指標 例：学位取得等
	間接的	教育による直接的な効果を間接測定する指標 例：単位修得、修了率等	教育による間接的な効果を間接測定する指標 例：満足度アンケート、授業評価アンケート、到達度アンケート

学修成果の測定指標の種類を 2 軸により 4 類型に整理した分類と例を示す

※学修成果（アウトカムズ）達成度評価手法

直接的評価法（達成度を課題を与えて直接測定）

（知識・理解能力）

- ・ 試験・レポート・作品
- ・ 資格試験（技術士 1 次試験、FE試験、TOEIC、統一試験、等）

（汎用的能力、ソフトスキル）

- ・ 試験、レポート、課題、の成果（パフォーマンス）をループリック使用にて評価
- ・ 筆記コミュニケーション、問題解決力、Critical Thinking、対人技能、を選択問題と筆記問題で直接測定

間接的評価法（達成度を質問などによって間接的に測定）

- ・ ループリックを用いない主観的評価

（例：コミュニケーション能力がついたと思いますか？）

- ・ 学生に対する満足度調査、口頭試問、アンケート